

第1学年 体育科学習指導案

日時 平成16年6月30日(水)5校時

場所 久慈湊小学校体育館

児童 1年1組(男子12名 女子9名 計21名)

指導者 日當 博美

- 1 単元名 「くるりん・するりん・ぴょんぴょんリレー」
(A 基本の運動 a 走・跳の運動遊び ア リレー遊び)

2 単元目標

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
<ul style="list-style-type: none">・ 約束を守って、みんなで仲良く運動することができる。・ 勝ち負けを素直に認めることができる。・ 場所や用具の安全を確かめることができる。	<ul style="list-style-type: none">・ 競争や運動の仕方を知り、活動を工夫することができる。	<ul style="list-style-type: none">・ 障害を調子よくくぐったり、跳び越えたり、全力で走ったりすることができる。

3 単元について

(1) 基本の運動について

基本の運動は、低学年及び中学年の心身の発達の特性を重視しながら、それぞれの運動についていろいろな課題に取り組んだり、仲間と競争したりすることによって、運動したいという欲求を充足し、その楽しさや喜びを味わうことができるように構成された領域である。その内容は、技能の獲得を直接ねらったものではなく、主として個人で成立する運動に着目して編成され、体の基本的な動きや、運動の基礎となる動きができるようになることをねらいとしている。

(2) 走・跳の運動遊びについて

走・跳の運動遊びは、かけっこやリレーをして友だちやグループで競い合ったり、記録に挑戦したりして楽しむ運動遊びである。本単元では、「リレー遊び」を扱う。調子よく走ったり、跳んだりする心地よさを味わったり、体を巧みに操作しながら簡単な障害物を越すためのいろいろな動きを身に付けたりすることもできる運動(遊び)である。

(3) 児童の実態

本学級の児童は、体を動かして外や体育館で思いっきり遊ぶことを好んでいる。入学当初には、なかなか友だちに声を掛けられずに一人遊びをしていた児童や、精神的に未発達でなかなか関わりながら遊ぶことができずにいた児童も、このごろは少しずつ誘い合って遊ぶ姿が見られてきた。しかし、自己中心的傾向も残っており、トラブルが起こることもあるが、友だちと仲良く遊ぶことの大切さは理解されてきており、集団での活動を通し、少しずつ社会性が育ってきている。

入学してからこれまでに、固定施設を使った運動遊びや運動会の取り組みに向けて学習してきた。単元のねらいや見通しをもって学習するのは、本単元が初めてである。学習の仕方を教えながら、力いっぱい走ったり跳んだりする楽しさや、グループの友だちと協力しながら工夫し、活動する楽しさを味わわせたい。

(4) 指導の構想

単元の導入においては、リレー遊びをするための約束を確かめ合う。5人(から6人)で仲良く協力して活動すること、バトンの渡し方やカラーコーンの回り方、障害の越え方などのルールを守ること、勝敗を素直に認めること等を確認していく。

2時間目からは、ねらい においては、折り返しリレー遊びを、ねらい では、様々な障害リレーを楽しむ。ねらい では、ルールやマナーを守ってリレー遊びを楽しむなかで、有効なバトンの渡し方や走順の工夫に気付かせていきたい。ねらい では、試しのリレーをした後、チーム毎に障害の置き場所や障害物を速く越える工夫をさせ、本番のリレーにつなげたい。また、以下の点にも合わせて留意する。

- ・グループ分けは、男女混合で、等質のグループとなるようにする。また、リーダー性のある児童を各グループに配置するようにする。
- ・障害物は、平面的なものから立体的なものへ、個数も1時間毎に1個から2個、3個へと無理なく工夫ができるように増やしていく。
- ・学習カードを使っての学習も初めてであるので、できるだけ短時間に書き上げることができるようなものにしながらも、学習の軌跡が分かるようにしていく。
- ・グループでの活動の中で、友だちのがんばりや工夫に気付いた児童がいたときは賞賛し、他との関わりも広げていくようにしていく。

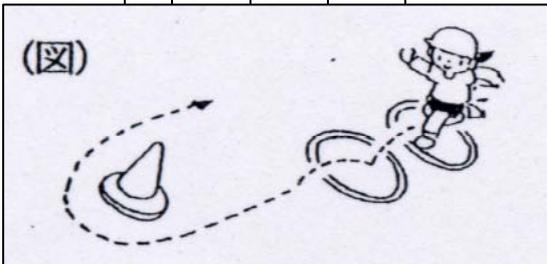
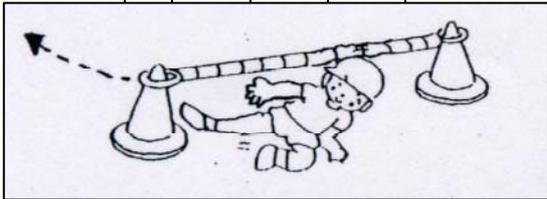
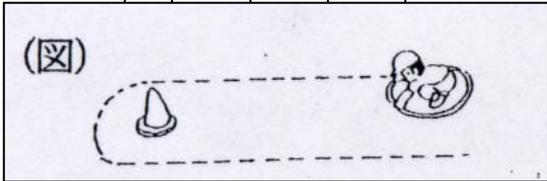
本時では、3個のミニハードルに、それぞれ馬(片足跳び越し) うさぎ(両足跳び越し) 恐竜(自由跳び越し)の絵を貼った物を用意し、動物のまねっこ跳びを楽しむ。繰り返し跳び越す練習をする中で、跳び越し方や障害物の置き順の工夫をさせる。片足・片足・両足(または両足・片足・片足)の順に障害物を置き換えると調子よく跳び越すことができる、等の気付きや工夫ができるように支援をしていきたい。

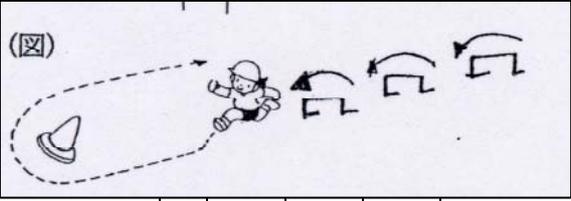
4 単元指導計画

時	1	2・3・4・5(本時)	6
段階 時間(分)	導入(キャッチ)	展開(チャレンジ)	終末 (ゲット)
10	オリエンテーション ・めあての確認 ・学習の進め方 ・体ほぐしのしかた ・準備・後片付け等の約束の確認	挨拶・体ほぐし・学習内容の確認	・まとめの障害リレー
20		ねらい 折り返しリレーで競走をする。	
30		ねらい 障害リレーで競走をする。	
40		体ほぐし・ふり返り・次時の学習内容の確認・挨拶	

5 評価計画

指導内容	時間	評価計画			評価規準（評価方法）	具体の評価規準
		関心 意欲 態度	思考 判断	技能		
オリエンテーション	1				リレー遊びを楽しんで行おうとする。 （観察）	（略）
・折り返しリレー ・輪くぐり障害リレー	1				・ルールやマナーを守ってリレー遊びを行おうとする。（観察） ・勝敗を素直に認めようとする。（観察）	A： ルールやマナーを守ってリレー遊びを楽しんでいる。安全にも留意している。 B： ルールを守ってリレー遊びを楽しんでいる。 Cへの支援： ルールやマナーが守れた児童やグループを賞賛し、守ろうとする意欲を高めたり、励ましたりする。
・折り返しリレー ・バー渡しカラーコーンくぐり障害リレー (図)	1				・自分に適した障害のくぐり方を工夫することができる。（観察）	A： 自分に適した障害のくぐり方を工夫している。友だちの良い所を見つけたり、改善点を教えたりしたりしている。 B： 自分に適した障害のくぐり方を工夫している。 Cへの支援： 児童に適した障害のくぐり方をアドバイスしたり、励ましたりする。意欲の向上や活動の工夫が見られたときは、賞賛する。
・折り返しリレー ・輪跳び越え障害リレー (図)	1				・自分たちに適した障害の置き方や越え方を工夫することができる。（観察）	A： 自分たちに適した障害の置き方や越え方の工夫をしている。友だちの良い所を見つけたり、改善点を教えたりしたりしている。 B： 自分たちに適した障害の置き方や越え方の工夫をしている。 Cへの支援： 障害の越え方をアドバイスしたり、励ましたりする。意欲の向上や活動の工夫が見られたときは、賞賛する。



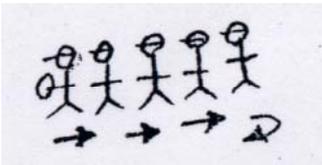
<p>・輪跳び越え障害リレー</p> <p>・ミニハードル越え障害リレー</p>	<p>1 (本時)</p>		<p>・自分たちに適した障害の置き方や越え方を工夫することができる。</p> <p>(観察)</p>	<p>A：自分たちに適した障害の置き方や越え方の工夫をしている。友だちの良い所を見つけたり、改善点を教えたりしたりしている。</p> <p>B：自分たちに適した障害の置き方や越え方の工夫をしている。</p> <p>Cへの支援： 障害の越え方をアドバイスしたり、励ましたりする。意欲の向上や活動の工夫が見られたときは、賞賛する。</p>
	<p>・まとめ(4種混合)リレー</p>	<p>1</p>	<p>・障害を調子よくくぐったり、跳び越えたり、全力で走ったりすることができる。</p> <p>(観察)</p>	<p>A：障害を調子よくくぐったり、跳び越えたり、全力で走ったりすることができる。障害の置き方を工夫したり、友だちにアドバイスしたりしている。</p> <p>B：障害を調子よくくぐったり、跳び越えたり、全力で走ったりすることができる。</p> <p>Cへの支援： 障害をくぐったり跳んだりするコツやタイミングをアドバイスする。技能の向上が見られたときは、賞賛する。</p>

6 本時の指導

(1) 目標

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 約束を守って、みんなで仲良く運動することができる。 ・ 勝ち負けを素直に認めることができる。 ・ 場所や用具の安全を確かめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 競争の仕方を知り、障害の配置や越え方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害を調子よく跳び越えたり、全力で走ったりすることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	学習形態・教材・ 教具等
導入 10分	1. 整列、挨拶 2. 準備体操・体ほぐし スキップ カニ歩き 大股歩き等 リング渡し競争 		<ul style="list-style-type: none"> ・事前に健康観察や服装点検、用具や場所の安全確認をしておく。 ・音楽に合わせて、本時の動きにつながるような準備体操をする。 ・太鼓の音に合わせて多様な歩き方や走り方をし、緊張を解きほぐす。 ・リングバトンを渡すときには声を掛け合い、チームの連帯感を強めるようにする。 	学習形態(単元計画) CD リングバトン(各1個)
展開	3. 学習内容の確認 ・学習内容やねらい1を確認する。 ねらい <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ぴよんぴよん(輪跳び越え障害)リレーを楽しもう。 </div> 4. ねらい ・ルールやマナーを確かめる。 ・場作りをする。 ・ぴよんぴよんリレーをする。 5. ねらい <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> ぴよんぴよんぴよん(ミニハードル越え)リレーを楽しもう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;"> 自分たちに適した障害の置き方や越え方を工夫することができる。 </div> 《観察・巡回指導》 A: 自分たちに適した障害の置き方や越え方の工夫をしている。友だちの良い所を見つけたり、改善点を教えたりしている。 B: 自分たちに適した障害の置き方や越え方の工夫をしている。 Cへの支援: 障害の越え方をアドバイスしたり、励ましたりする。 意欲の向上が見られたときは、賞賛する。	<ul style="list-style-type: none"> ・競走の前には、チーム毎にエールをかけさせ、志気を高める。 ・相手チームの健闘を讃える姿勢を大切にすること意識させて、勝敗を決めさせるが、まとまらないときは助言する。 ・高さのある障害物は初めてであるの 	リングバトン(各1個) フラフープ(各2個) カラーコーン(各2個) ミニハードル(各チーム3個)

